

「日医標準レセプトソフト」(以下、本システム)の WebORCA オンプレバージョン 5.2.0 を対象としたオフラインメンテナンスについて説明します。

1 オフラインメンテナンス

本システムは、原則としてインターネット接続環境での使用を前提としています。ただし、ユーザの都合や地域的な環境の問題のため非接続環境での使用も考慮する必要があります。運用にあたっては、随時マスタのメンテナンスやシステムのメンテナンスが発生しますので、非接続環境におけるメンテナンスの方法について説明します。

2 オフラインメンテナンスで必要なもの

オフラインメンテナンスを行う上で必要なものは以下となります。

- ・システムをアップグレード(インストール)するための本システム関係の deb パッケージファイル
- ・システムをアップグレード(インストール)するための Ubuntu Official パッケージファイル
- ・システムをアップグレード(インストール)するために必要なデータベースの構造変更等処理を行う更新データファイル
- ・マスタをメンテナンスするためのマスタ更新データファイル
- ・インストールされたプログラムに対し修正を施したプログラムで置換えをするためのプログラム更新データファイル
- ・地方公費及び公開帳票のプラグインパッケージファイル

(注意) 「ORCAMO クラウド拡張」はオフラインメンテナンスツールの対象外となります

これらのプログラム及びデータファイルを CD-ROM 等のメディアに記録しメンテナンスを行うデータソースとします。

オフラインメンテナンスのために作成するデータソースは、

Ubuntu Official パッケージ メディアにより複数枚

本システム関係 CD-ROM 1枚

となります。

(注意) 本説明書では、Ubuntu Official パッケージについては説明を割愛します。

3 オフラインメンテナンスデータソース作成 (本システム関係)

本システムをメンテナンスするためのデータソース作成について、CD-ROM 等のメディアに記録を行うことを前提に説明を行います。

オフラインメンテナンス説明書

(1) アクセスキーファイルの取得

医療機関専用サイトへログインします。

<https://orcaid.orca.med.or.jp/minst/signin>



医療機関専用サイト:ログイン ×

← → ↻ 🏠 🔒 https://orcaid.orca.med.or.jp/minst/signin

医療機関専用サイト

医療機関 ID システム

医療機関専用サイト

IDとパスワードを入力してください。

ユーザID

パスワード

ログイン

Copyright © Japan Medical Association. All rights reserved.

オフラインメンテナンス説明書



Copyright © Japan Medical Association. All rights reserved.

[ダウンロード] ボタンをクリックします。



「ファイルを保存する」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
ファイル名は、orcaid.txt（変更も可）として保存します。

(2) データソースのダウンロード

データソースを取得するためのツールをダウンロードします。

```
$ cd /tmp/  
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/jma-offline-weborca-v1.tgz
```

※ データソース取得環境が Ubuntu22.04 以外の場合「jq」をインストールしてください

```
$ sudo apt update  
$ sudo apt install jq
```

(md5: a977167cb30562f7a92cbfbd08001363 jma-offline-weborca-v1.tgz)

ファイルを解凍します。

```
$ tar xvzf jma-offline-weborca-v1.tgz
```

ディストリビューションに合わせたオプションで処理を行います。

```
$ cd jma-offline-weborca-v1
```

・Ubuntu22.04 jammy 5.2.0 の場合

```
$ ./jma-offline-weborca-v1 jammy5.2 ../orcaid.txt
```

※上記コマンド例のアクセスキーファイル (orcaid.txt) は、ツールをダウンロードした場所に存在している場合となります。

オフラインメンテナンスツールは WebORCA の仕様変更のため改修が発生します。
必ず最新版の提供の状況を確認してください。

以前に取得されたオフラインメンテナンスツールを使用した場合など、必要なファイルが取得されないことを防ぐ目的で表示しています。

アナウンスを確認、又はツールを毎回取得するなど行ってください。

確認メッセージを表示しますので“Y”（はい）と入力するとダウンロードが始まります。

```
処理を開始します。よろしいですか？ (Y/N) : Y
```

スクリプトにより /tmp/jma-cdwork という作業フォルダを作成しダウンロードします。

(3) CD-ROM 等メディアの記録

CD ライティングソフトウェアを使用して作業フォルダから CD-ROM 等のメディアへ記録を行います。

◆CD-ROM 記録の参考

iso イメージファイルの作成

この例では、/tmp フォルダに orcamnt.iso というファイルが作成されます。

```
$ mkisofs -r -l -J -o /tmp/orcamnt.iso /tmp/jma-cdwork
```

CD/DVD メディアへ記録

イメージファイル書き込みソフトである「brasero」をインストール。

```
$ sudo apt update
$ sudo apt install brasero
```

下記コマンドで「brasero」を実行し、「イメージの書き込み」から作成した iso イメージファイルを指定して CD/DVD メディアへの書き込みをおこなってください。

```
$ brasero
```

以上で、本システム関係のメンテナンスデータソースが完成しました。

4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）

（1）データソースをオフライン環境にコピー

CD/DVD メディアや USB メモリ等へ書き込んだデータソースを /tmp/ にコピーしてください。

※ 必ずデータソースをローカルマシン上にコピーしてください

例：/media/ユーザ名/CDROM としてマウントされている場合

```
$ cp -r /media/ユーザ名/CDROM/ /tmp/
```

（2）オフラインモードの有効設定

/opt/jma/weborca/conf/install.conf を編集します。

```
BASE_PATH=/tmp/CDROM/pub/weborca/jammy/1.0
# PATCH_PATH=
ONLINE=false
```

(3) 本システムのメンテナンスのためのセットアップ

apt-line の設定ファイル (/etc/apt/sources.list.d/[設定ファイル]) を編集します。
/tmp/CDROM としてコピーした場合は以下のように設定を行います。

jma-receipt-weborca-jammy10.list を編集した内容となります。

```
#deb [signed-by=/etc/apt/keyrings/jma.asc] https://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu jammy1.0 jma
#deb [signed-by=/etc/apt/keyrings/jma.asc] https://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu jammy-common jma
← 設定が有効になっている行をコメントにします
deb [signed-by=/tmp/CDROM/pub/ubuntu/archive.key] file:///tmp/CDROM/pub/ubuntu jammy1.0 jma
deb [signed-by=/tmp/CDROM/pub/ubuntu/archive.key] file:///tmp/CDROM/pub/ubuntu jammy-common jma
```

次に、Ubuntu Official パッケージのための apt-line 設定ファイル (/etc/apt/sources.list) を編集します。

以下は、jammy を例とした内容となります。

```
#deb cdrom:[Ubuntu 22.04 LTS _Jammy Jellyfish_ - Release amd64 (20220419)]/ jammy main
restricted

# See http://help.ubuntu.com/community/UpgradeNotes for how to upgrade to
# newer versions of the distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ jammy main restricted
← 設定が有効になっている行をコメントにします
# deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ jammy main restricted

## Major bug fix updates produced after the final release of the
## distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ jammy-updates main restricted
← 設定が有効になっている行をコメントにします
# deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ jammy-updates main restricted

## N.B. software from this repository is ENTIRELY UNSUPPORTED by the Ubuntu
~ (以下省略)
```

(4) DB構造変更、マスタ更新のためのセットアップ

DB構造変更、マスタ更新などメンテナンスを行うための更新データの位置について設定を行います。

/opt/jma/weborca/conf/jma-receipt.conf を編集します。

メンテナンス内容に対する更新データの位置を表す環境変数は以下となります。

DB構造変更 : DBUPGRADEPATH

標準マスタ更新 : MSTUPDATEPATH

ライセンスマスタ更新 : DBLICENSEPATH

例えば、データソースのコピー先が/tmp/であり、フォルダ名がCDROMの場合は以下のように設定を行います。

(省略)

```
DBUPGRADEPATH=file:///tmp/CDROM//pub/orca_data
```

```
MSTUPDATEPATH=file:///tmp/CDROM//pub/orca_data
```

```
DBLICENSEPATH=file:///tmp/CDROM//pub/orca_data
```

(5) プラグインパッケージのためのセットアップ

プラグインパッケージのマウントポイントは、/media になります。

例えば、データソースのコピー先が/tmp/CDROMの場合はシンボリックリンクを作成します。

```
$ sudo ln -s /tmp/CDROM/pub /media/pub
```

次にプラグインの設定ファイル (/opt/jma/weborca/app/etc/jppinfo.list) を編集します。

```
---
:root: /opt/jma/weborca/var/plugin
:list:
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jpplist1-offline.yml
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jpplist2-offline.yml
:linkprefix: /usr/local/site-jma-receipt
:verify: true
```

※(version)には、日レセのバージョンの該当するものを指定

5 更新処理

環境設定ファイルが、本説明書の「4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）」で説明した内容になっていることを確認します。

(1) メンテナンス用データソースのコピー

メンテナンス用データソースを格納した媒体をパソコンにセットし、内容を/tmp/にコピーします。

(2) 本パッケージのアップグレード（インストール）の実行

```
$ sudo apt update
```

エラーが発生していないことを確認してください。

```
$ sudo apt dist-upgrade
```

パッケージのアップグレード（インストール）が正常終了したことを確認してください。

(3) プログラム更新の実行

ログイン画面にて「アップデートボタン」を押下することで、プログラム更新およびミドルウェア更新がおこなわれます。（「sudo weborca-install」でも更新可能です）

(4) マスタ更新の実行

本システムのメニュー画面より「マスタ更新」を選択し更新処理を実行します。
※オンライン更新でもオフライン更新でも処理の起動方法は同じです。

(5) プラグインパッケージ更新処理の実行

WebORCA オンプレ版へログイン後、業務メニューから「プラグイン」を押下し、地方公費または公開帳票プラグインの「組込」「更新」等おこなってください。

(6) /media ポイントのシンボリック解除

```
$ sudo rm /media/pub
```

(7) CD-ROM のアンマウント

メンテナンスデータソースを CD ディスク装置から取り出します。

以上でオフラインメンテナンスによる更新は完了となります。